

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	次世代がん研究戦略推進プロジェクト		担当部局庁	研究振興局		作成責任者	研究振興戦略官 阿蘇 隆之		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～平成27年度		担当課室	研究振興戦略官付					
会計区分	一般会計		政策・施策名	10-1 ライフサイエンス分野の研究開発の重点的推進及び倫理的課題等への取組					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	がん対策基本法(平成18年法律98号)第2条第1項、第18条		関係する計画、通知等	第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)、第3次対がん10か年総合戦略(平成16年文部科学大臣及び厚生労働大臣決定)、がん対策推進基本計画(平成24年6月閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	次世代のがん医療の実用化に向けて、がんについての基礎研究から得られた革新的なシーズを戦略的に育成し、臨床応用を目指した研究を加速する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	簡便、高精度かつ非侵襲な早期診断法や再発・転移を抑える画期的な治療法、革新的ながん根治治療法等の次世代がん医療を実現するため、基礎から臨床へと継ぎ目無く研究をつなげることのできる仕組みを構築し、厳選した革新的な基礎研究の成果を、戦略的に育成することにより、平成27年度までに前臨床レベルでの有効性の確認等まで研究を進める。 また、がんの薬物療法において、個人の遺伝的背景に配慮した副作用・効果の予測や診断を可能とする医療の実現に向けて、ファーマコゲノミクス研究の成果を臨床応用するための取組を行う。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		補正予算	-	3,600	3,636	3,629	9,529		
		繰越し等	-	-	-	-	-		
		計	-	3,600	3,636	3,629	9,529		
	執行額	-	3,620	3,637					
	執行率(%)	-	100.6%	100.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	前臨床もしくは臨床研究段階へ移行した有望なシーズの数			成果実績	件	-	-	-	39
				達成度	%	-	0%	0%	
	発表論文数			成果実績	件	-	154	422	-
			達成度		()	(300)	(300)		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	-			活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	
単位当たりコスト	発表論文数1件あたりのコスト13(百万円/本)			算出根拠	単位当たりコスト=H24までの投入費用(7,236百万円)/H24までの発表論文数(576本)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	科学技術試験研究委託費	3,624.9百万円	9,525.5百万円	新しい日本のための優先課題推進枠 4,400,000円					
	諸謝金	0.5百万円	0.6百万円						
	職員旅費	2.1百万円	1.7百万円						
	委員等旅費等	1.4百万円	1.1百万円						
	計	3,629.0百万円	9,529.0百万円						

事業所管部局による点検0									
項目		評価	評価に関する説明						
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	当事業は、第4期科学技術基本計画及び日本再興戦略等において重要事項として位置付けられており、健康長寿社会の実現に資するものである。したがって、国として事業の進捗を管理しながら推進する必要がある。						
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○							
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○							
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	<p>本事業は革新的ながん医療の実現を目指し、有望な基礎研究の成果を臨床応用に向けて効果的・効率的に育成しようとするものであり、文科省が指定した指定研究と、より広く全国から有望なシーズを募集した公募研究により構成されている。</p> <p>研究課題の採択に際しては、外部の有識者による審査を経た上で決定している。また、課題公募においては、十分な広告期間を設け、HP等で周知した上で公募を実施しており、その妥当性及び競争性を確保している。なお、委託費の交付決定に当たっては、事業経費の費目・用途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックを行っている。</p> <p>当事業は、効率的な研究推進を図るため、最先端・高性能の研究機器を導入し、それを運用できる拠点を定めて効率的かつ実効性の高い研究支援を行っている。</p> <p>目標設定に際しては、総合科学技術会議と協議の上、具体的な数値目標を設定して事業を進めており、当初の計画通り、着実に成果を上げている。また、当事業の成果として、論文発表を行い、十分に活用されている。</p>						
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—							
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○							
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○							
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○							
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—								
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○							
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○							
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○							
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—							
	事業番号	類似事業名					所管府省・部局名		
点検結果	○明確な目標・計画に沿って国の委託事業として実施する政策課題対応型の研究開発であることから、成果報告書の提出、プログラム運営委員会等により、事業開始時の当初計画と比べた進捗状況や今後の展望について確認し、引き続き事業の着実な推進に努める。								
	○個々の課題の進捗や研究支援基盤の効率的な運用を管理するヘッドクォーター機関による、アドバイザーボードの意見も踏まえたプログラム全体のマネジメントにより、研究課題の効率的な推進に引き続き取り組む必要がある。ゲノム解析を実施する上での倫理問題対応や創薬候補物質に対する知財戦略についても引き続き取り組む必要がある。								
	○平成25年度には、外部有識者からなる中間評価委員会を開催し、事業の適切な予算配分や計画の見直しの必要性等を検討しており、その結果を来年度の事業運営に反映していく。								
外部有識者の所見									
外部有識者による点検対象外									
行政事業レビュー推進チームの所見									
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点: 本事業は、次世代のがん医療の実用化に向けて、がんについての基礎研究から得られた革新的なシーズを戦略的に育成し、臨床応用を目指した研究を加速するものであり、事業成果の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見: 本事業は政策課題対応型の研究開発であることを踏まえ、プログラム運営委員会等により、事業開始時の当初の計画と比べた進捗状況や今後の展望の確認を行い着実に事業を実施していることは評価するものの、引き続き、事業の効果的・効率的な実施に努めるべきである。</p>								
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況									
執行等改善	<p>本事業においては、事業3年目にして、質の高い論文を多数輩出するなど、高い成果を上げていると認められる。引き続き、事業の効率的な実施を目指し、個々の課題の進捗や研究支援基盤の効率的な運用を管理するヘッドクォーター機関によるアドバイザーボードのフォローアップを通じて事業成果の検証を着実に実施する。</p>								
備考									
事業のHP:「次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム」 http://p-direct.mext.go.jp/									
関連する過去のレビューシートの事業番号									
	平成22年	—	平成23年	新23-0053	平成24年	0268			

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省
3,637百万円

諸謝金等 0.4百万円 } を含む
職員旅費 1.0百万円
委員等旅費 1.3百万円

研究領域及び課題を選定し、マネジメントを実施

【随意契約・委託】

**A. (公財)がん研究会・
東京大学(全2機関)**

(公財)がん研究会 80百万円	東京大学 20百万円
--------------------	---------------

プログラム全体の管理・運営
(運営委員会の運営・管理、
データベース構築と維持管理、
広報活動、知財創出支援、
倫理問題対応等)

【随意契約・委託】

**D. (独)理化学研究所・
東京大学**

(独)理化学研究所 668百万円	東京大学 132百万円
---------------------	----------------

遺伝子解析、臨床研究、プロ
ジェクトの総合的推進

【随意契約・委託】

B. 研究支援基盤運営機関
大学等(全4機関)
926百万円

シーズの効率的な育成を支援する
研究支援基盤の運営管理

【公募・委託】

C. 研究実施機関
大学等(全129機関)

外部委員会の評価を経て、
文部科学省が指定したがん
研究有望シーズの臨床応用

※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(公財)がん研究会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
設備備品費	データ解析・検索装置	1			
人件費	業務担当職員	34			
業務実施費	雑役務費	30			
	印刷製本費	3			
	会議開催費	2			
	国内旅費	1			
	その他(消耗品費、消費税相当額)	2			
一般管理費		7			
計		80	計		0
B.(公財)がん研究会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
設備備品費	フローサイトメーター、核酸定性・定量装置 他	30			
人件費	業務担当職員、補助者	89			
業務実施費	消耗品費(全エクソソームシーケンシング、組織 培養実験類、遺伝子発現実験類等)	143			
	雑役務費(抗体作製役務、化合物最適化役 務等)	35			
	電子計算機諸費	5			
	その他(国内旅費、消費税相当額)	5			
一般管理費		31			
計		337	計		0
C.東京大学			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
設備備品費	CCDカメラタイプ画像解析装置、高感度ルミ ノメーター	6			
人件費	業務担当職員、補助者	11			
業務実施費	消耗品費(分子生物学試薬、細胞培養消耗 品、実験動物等)	64			
	雑役務費(マウス作出及び繁殖、論文校 閲、英文校閲等)	1			
	その他(国内旅費、津新運搬費、消費税相 当額等)	1			
一般管理費		8			
計		91	計		0
D.独立行政法人理化学研究所			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
設備備品費	384ウェルPCR、8チャンネル1μL分光光度 計等	18			
人件費	業務担当職員	34			
業務実施費	雑役務費(遺伝子型判定、臨床研究等)	546			
	消耗品費(理化学機材類、試薬類等)	22			
	その他(国内旅費、外国旅費、消費税相 当額等)	2			
一般管理費		46			
計		668	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)がん研究会	プログラム全体の管理・運営(運営委員会の運営・管理、データベース構築と維持管理、広報活動、知財創出支援等)	80	随意契約	-
2	東京大学	倫理問題への対応に関する業務	20	随意契約	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)がん研究会	次世代がん研究推進のためのシース育成支援(分子標的並びに化合物のPOC解析、創薬研究推進に関わる支援、検体処理、ゲノム解析)	337	随意契約	-
2	東京大学	がん臨床シース育成グループ研究事業における臨床検体のゲノム・エピゲノム解析支援	278	随意契約	-
3	独立行政法人理化学研究所	革新的がん治療開発のためのハイスループットスクリーニング基盤、及び動物を用いた標的分子のPOC取得と阻害剤の薬効評価	273	随意契約	-
4	独立行政法人産業技術総合研究所	天然物ライブラリーを用いた探索試験の実施	39	随意契約	-

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京大学	がん微小環境を標的とした革新的治療法の実現	91	企画競争	-
2	東京医科歯科大学	分子プロファイリングによる新規標的の同定を通じた難治がん治療法開発	60	企画競争	-
3	(公財)がん研究会	再発性乳がんにて特徴的な新規遺伝子変異の同定における検体収集、消化器がん及びリンパ腫の再発/転移にて特徴的な遺伝子変異の同定及び進行性卵巣がんの治療感受性を規定する遺伝子変異の同定における検体収集	56	企画競争	-
4	京都大学	がん染色体・分裂期チェックポイントを標的とした治療法の確立	50	企画競争	-
5	東京大学	グリオーマおよびスキルス胃がん幹細胞の制御による治療法の開発、肝がん幹・前駆細胞抗原の同定と治療抗体の開発及びがん幹細胞を標的とした治療用遺伝子組換えウイルスの開発研究	46	企画競争	-
6	東京大学	進行性卵巣がんの治療感受性を規定する遺伝子変異の同定、統合的ゲノムスクリーニングによる難治性小児固形腫瘍の新規標的分子の探索及び悪性脳腫瘍克服のための新規治療標的及びバイオマーカーの創出	46	企画競争	-
7	(公財)がん研究会	TACC3を標的としたがん治療・予防法の開発及びがん分子標的治療薬シースとしてのタンキラーゼ阻害剤の探索開発	45	企画競争	-
8	京都大学	微小環境に注目したがんの治療戦略開発及び活性型ナルディライジンを標的とする新規抗体製剤の開発	41	企画競争	-
9	愛知県がんセンター	がんエピゲノム異常を標的とした治療・診断法の開発	40	企画競争	-
10	名古屋大学	早期診断マルチバイオマーカー開発	40	企画競争	-

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人理化学研究所	遺伝子解析、薬剤応答性関連遺伝子を用いた臨床現場への応用、新規サンプルの収集、プロジェクトの総合的推進	668	随意契約	-
2	東京大学	臨床研究データの収集及びデータベースの運用、DNAサンプルの収集並びに保管・管理及び配布、協力医療機関への業務支援	132	随意契約	-